けんび鏡で花粉を見る

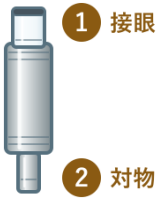
けんび鏡で花粉をはっきり見るには、どんな順で操作すればよいだろう

1 明るい所に置く



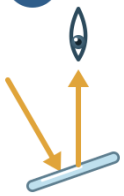
直射日光の当たらない、明るい所の水平な台に置く。運ぶときは、アームをにぎり、台に手をそえる。

2 レンズを付ける



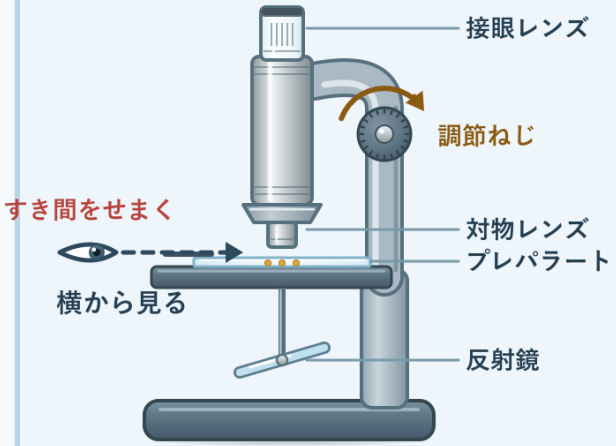
接眼レンズ、対物レンズの順に付ける。対物レンズはいちばん低い倍率のものにする。

3 明るくする



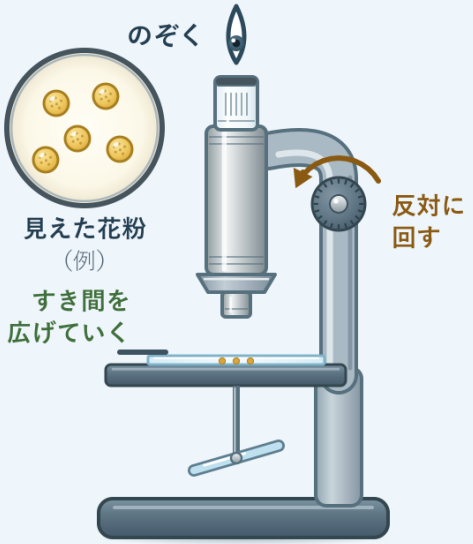
接眼レンズをのぞきながら、反射鏡の向きを変えて、明るく見えるようにする。

4 横から見ながら近づける



プレパラートをのせ、横から見ながら調節ねじを回して、対物レンズとプレパラートをできるだけ近づける。

5 のぞきながらはなしていく



接眼レンズをのぞきながら、調節ねじを④と反対に回して少しずつはなし、はっきり見えた所で止める。

✕ よくない例（安全のために）

✕ のぞきながら近づける

対物レンズがプレパラートに当たり、われることがある。

✕ 反射鏡に直射日光を当てる

強い光が目に入り、目をいためる。日光が直接当たる所では使わない。

※ 模式図。けんび鏡の形は製品でちがう。光源のついたけんび鏡では③がちがう。完全な操作手順ではない（先生の指示で確かめる）。